

ALINCO

PS1127
FNFH-NG

特定小電力ハンディトランシーバー
総務省技術基準適合品
Bluetooth Module XE1126 内蔵

DJ-P422B-T

簡易取扱説明書



ニッケル水素充電電池EBP-179をご利用になる際は、減電池表示を正しく機能させるためセットモードの電池選択項目をni(ニッケル水素)に設定してください。

アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は免許、資格が不要の特定小電力無線機器です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。本機のパフォーマンスを十分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管してください。また補足シートや正誤表などが入っている場合は取扱説明書とあわせて保管してください。

アルインコ株式会社 電子事業部

支店・営業所とサービスセンター（SC）

| | | | | |
|-------|-----------|---------------------|---------------|------------------|
| 東京 | 〒103-0027 | 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 | 日本橋プラザビル14階 | TEL.03-3278-5888 |
| 名古屋 | 〒460-0003 | 名古屋市中区錦2丁目2番24号 | いちご丸の内サウスビル3階 | TEL.052-212-0541 |
| 大阪/SC | 〒541-0043 | 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 | 淀屋橋ダイビル13階 | TEL.06-7636-2361 |
| 福岡 | 〒812-0013 | 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 | エコービル2階 | TEL.092-473-8034 |

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店またはフリーダイヤル ☎ 0120-464-007
全国どこからでも無料でサービス窓口につながります。

受付時間/月曜～金曜 10:00～17:00 (土日祝・休業日と12:00～13:00は除きます。)
ホームページ <https://www.alinco.co.jp/> > 事業案内 > 電子事業部 をご覧ください。

使用前のご注意

別紙の「安全上のご注意」を必ずお読みください。本書に記載していない重要な安全上、使用上の注意点と免責事項についてご説明しています。

■ ご使用環境

高温、多湿、直射日光が当たり短時間でも危険温度になるところは避けてご使用ください。

■ 分解しないで

特定小電力無線機の改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けたりすることは絶対にしないでください。

■ 使用禁止場所

本機は微弱電波の特定小電力無線装置ですが、無線機器の使用が制限される場所では事前に管理者の許可を得てください。

例：航空機内、空港敷地内、公共交通機関内、医療・高齢者施設など

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。

This product is intended for use only in Japan.

■ 通信距離の目安（10mW送信時）

- ・海上、山頂など条件のよい所：2kmまたはそれ以上
- ・河原など障害のない平地：500m～1km程度
- ・見通しのよい道、郊外の住宅地：500m程度
- ・市街地のような障害の多い所：200m程度
- ・送信出力Lo(1mW)での通信距離は半分以下まで短くなる場合があります。

注意

- ・建物内の縦階層間の通信はフロアが障害物になるため、直進では数十メートル近距離であっても通信できないことがあります。このような場合は中継器を設置することで通信エリアを広げることができます。
- ・人体を含む障害物やアンテナの向き、歩くなど移動による影響を受けると、通信距離は半分程度まで短くなる場合があります。
- ・トンネルのような閉鎖空間ではUHF電波伝播の特性により近距離でも通信できないことがあります。

■ Bluetooth® について

別売の Bluetooth オプションをお使いになるときは必ずお読みください。

- ・本機に内蔵している Bluetooth Module (XE1126) は総務省技術適合品です。分解、改造することは法律でかたく禁じられています。
- ・電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

■ Bluetooth 機能による電波干渉について

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、以下についてご注意ください。

Bluetooth に使用される2.4GHz 帯では、産業、科学、医療機器のほか、工場

の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局が運用されています。

- ・本機のBluetooth 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
- ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth 機能をオフにしてください。
- ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

■ 本機の Bluetooth 機能の制限について

別売 Bluetooth 対応アクセサリ(以下 アクセサリ)では、下記の使用はできません。

- ・コールバック ・接客モード (タッチ / ボイス)

■ 2.4GHz 現品表示記号の意味について

「2.4」 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備

「FH」 : FHSS 方式

「1」 : 想定干渉距離が10 m以下

「-」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局の帯域を回避不可



Bluetooth の登録商標 / 著作権について

Bluetooth のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。

なお、本文中ではTM、® などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

特定小電力の通信制限について

特定小電力無線機の通信に関する制限事項について説明します。

3分制限(3分以上は連続で送信できません).....

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。チャンネルを独占させないための機能です。

注意

3分の通信時間制限により自動的に通信が停止したあとは、約2秒間たたないと送信できません。

キャリアセンス(受信中は送信できません).....

一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。混信や妨害を与えないための機能です。

注意 セットモードの「操作音量」をオフに設定している場合、アラーム音は鳴りません。

付属品

付属品をご確認ください。

- ベルトクリップ(装着済) : EBC-70(ネジ付) 取扱説明書
安全上のご注意 補足シート(すぐにつながるACSH機能) 保証書

- 注意**
- ・保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。
 - ・本機の保証は、本機と付属品だけに適用されます。
 - ・弊社純正、または弊社が認めたアクセサリ以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無を問わず有償修理になります。他の無線機メーカー製オプション品が使えるかどうかは検証していません。他社製アクセサリに関する事は、直接その製品のメーカーにお問い合わせください。

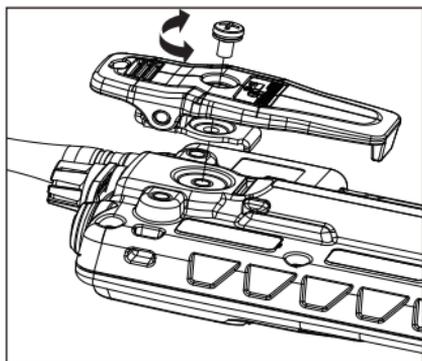
ベルトクリップの取付け/取外し.....

ベルトクリップは取付けた状態で梱包されています。ベルトクリップを外すときはドライバーでネジを反時計方向に回して外してください。

(プラスドライバーNo2 が必要です)

定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。

取付け後は本機を体の横や腰などに固定してください。また有線式オプションのケーブルは引っかからないように余分な長さを束ねてください。



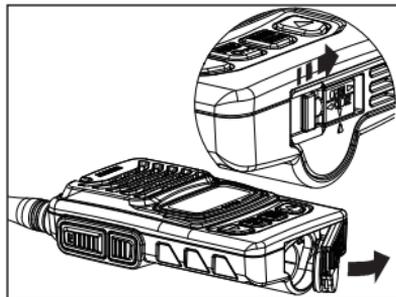
- 注意**
- ・左右のネジ穴は別売オプションを取り付けるためのネジ穴です。付属品以外のベルトクリップはご使用になれません。
 - ・標準付属品以外のネジを使うと本機が破損しますので絶対に規格以外のネジは使わないでください。

電池の入れ方

単三形アルカリ乾電池またはオプションのニッケル水素充電電池(EBP-179)を装着する方法について説明します。

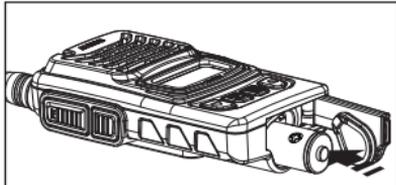
①カバーを開ける

ロックレバーをOPEN側へスライドさせながらカバーを開けます。



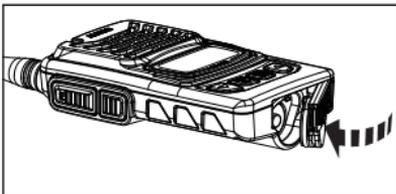
②電池を入れる

単三形アルカリ乾電池1本またはニッケル水素充電電池(EBP-179)1本を[-]側から入れます。



③カバーを閉める

カバーを本体上部方向へ押さえて閉めてください。



注意

- ・電池の[+ / -]の向きを間違えないようご注意ください。
- ・市販の充電電池はご使用になれません。
- ・しばらく使用しないときは本製品から電池を取り外してください。電池を入れたままで液漏れすると修理ができなくなります。

別売 充電器

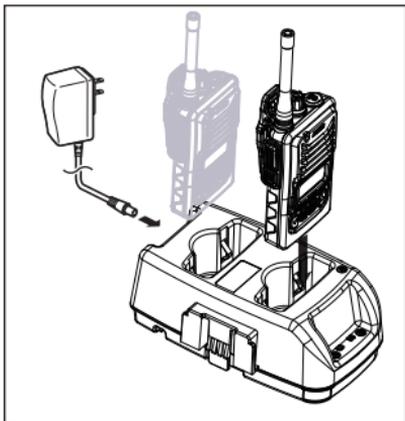
- ニッケル水素充電電池 : EBP-179(1.2V 1900mAh)
- ツイン充電器セット : EDC-179A(ACアダプター付属)
- 連結充電スタンド : EDC-179R(専用ACアダプターEDC-162 別売)
- シングル充電器セット : EDC-181A(ACアダプター付属)

充電機は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。

充電器(EDC-179A/179R/181A)を使用して、空のニッケル水素充電電池(EBP-179)を満充電するのに要する時間は約6時間です。

■ツイン充電器セット(EDC-179A)の使用方法

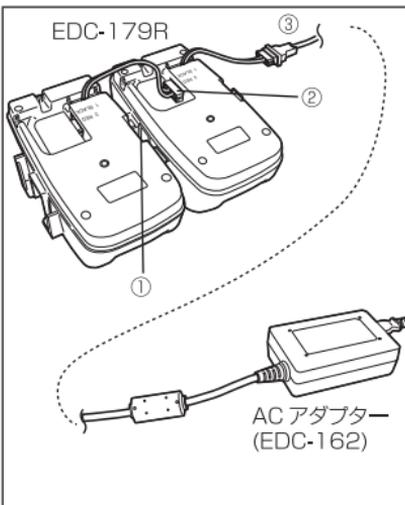
- ①トランシーバーにニッケル水素充電電池(EBP-179)を装着します。
- ②ACアダプターのプラグを充電スタンド背面のジャックに接続します。
- ③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
- ④トランシーバーの電源が切れていることを確認して、充電スタンドのポケットに挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。1台のみ、または2台同時に充電可能です。
- ⑤充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。



■連結充電スタンド(EDC-179R)の使用方法

連結充電スタンド(EDC-179R)を使用して連結充電するときは、必ず連結用ACアダプター(EDC-162)が必要です。最大で5台連結し、トランシーバーを10台同時に充電することができます。

- ①充電スタンド同士を連結します。ロックレバーが固定されていることを確認してください。
- ②充電スタンド裏面のコネクターを接続します。
- ③連結用ACアダプターのコネクターを、端の充電スタンドのコネクターに接続します。
- ④連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
- ⑤トランシーバーの電源が切れていることを確認し充電スタンドのポケットに挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。最大で10台同時に充電可能です。
- ⑥充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。
- ⑦充電スタンドの連結を切り離すときは、断線を防ぐため先に裏面のコネクターを抜いてください。



- 注意** ・市販の単三形充電電池はEBP-179と形状が違うためご使用になれません。
- ・弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電電池を充電することはできません。
 - ・充電するときは本製品の電源を切ってください。電源を入れたままだと満充電にならないことがあります。
 - ・本製品および充電器の充電端子はときどき乾いた布で掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。
 - ・本製品をいずれかのポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが別のポケットに挿入すると緑色ランプが点灯する、あるいはその逆の動作をすることがあります。充電開始・完了を決定する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。
 - ・充電電池を持ち運ぶ場合は、端子がショートしないようにビニール袋に入れるなど注意してください。端子がショートすると、大電流が流れてやけどや火災を引き起こすおそれがあります。
 - ・ニッケル水素充電電池を保存するときは、高温多湿を避けて保存してください。
 - ・ニッケル水素充電電池を6ヶ月以上ご使用にならなかったときは、一時的に性能が低下し、使用時間が短くなる場合があります。その場合は下記の方法でニッケル水素充電電池のリフレッシュをおこなってください。

①本機にニッケル水素充電電池を装着します。

②指定の充電器を使用し満充電した後、本機の電源を入れたまま放置します。

③「減電池表示が出る」「本機の電源が切れる」など、電池を使い切るのを待って再度充電をおこなってください。

④上記の要領で、充放電を3回程度繰り返します。

リフレッシュをおこなっても、ニッケル水素充電電池の使用時間が著しく短い場合は寿命が尽きたものと思われます。新しいものにお取り替えください。

メモ ニッケル水素充電電池EBP-179をご使用になる際は、減電池表示を正しく機能させるためセットモードの電池選択項目をn i (ニッケル水素)に設定してください。

電池選択項目をA L (アルカリ)にして使用していると、早めに減電池表示することがあります。

各部の名前とはたらき

■前面部

アンテナ

アンテナは外れないようになっています。故障の原因になるため、アンテナをもって本機をぶら下げたり無理な力を加えたりしないでください。

ランプ

緑色点灯 : 受信中
赤色点灯 : 送信中
青色遅い点滅 : Bluetooth 接続中
青色2回点滅 : Bluetooth 未接続
青色高速点滅 : Bluetooth ペアリング中

PTT(送信)キー

送信するときに押します。

サブPTTキー

拡張機能に使用します。初期状態では押すと送信します。

▽(ダウン)キー

降順にチャンネルを変更するときに押します。

FUNCキー

キーロックやセットモードに入る際に使用します。

電源/音量つまみ

※少しずつ音量を上げて適切な音になるように調整してください

イヤホン/マイク端子

別売有線式オプションを接続することができます。
※接続するときは奥までしっかりとねじ込んでください。

スピーカー

受信音が鳴ります。

マイク

送信するときはここに向かって話します。シールやステッカーでふさがないように。声を拾わなくなります。

ディスプレイ

△(アップ)キー

昇順にチャンネルを変更するときに押します。

GROUPキー

グループトーク機能を設定する際に使用します。

■ディスプレイ



基本操作

ここでは基本的な操作を簡単に説明しています。本書に記載していないセットモードや注意点を含む詳細取扱説明書を下記に掲載しています。

<https://www.alinco.co.jp/> 「製品情報 > 通信技術 > ダウンロード > 特定小電力無線機」
右図の二次元バーコードをスマートフォンで読み取ることで、詳細取扱説明書をダウンロードできます。



■ キー操作

「キーを押す」とはしっかり押した後、すぐに離すことを指します。

「キーを長押し」とは約2秒間押し続けることを指します。

■ 電源の入り切り / 音量を調整する

電源/音量つまみを時計方向に回すと電源が入り、待受表示になります。さらに回すと音量が上がります。電源を切る場合は、つまみを反時計方向に回し切ります。

電源を入れたときの「EAr-nG」表示はイヤホン断線検知の異常をお知らせしています。



交互通話

一人が話す音声を残り全員が受信します。複数の人が同時に送信することはできません。電波の届くところにいれば人数に制限なく通話できます。本機または交互通話対応の特定小電力トランシーバーを2台以上使用します。

■ チャンネルを合わせる

[▽]または[△]キーを押して交互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。

キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

レジャー、ビジネス合わせての20チャンネルを搭載しています。



■ 受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。

ランプが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

メモ 本機にはテールノイズキャンセラー機能を搭載しており受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。(テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)

■ 送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。

ランプが赤色に点灯し送信が始まります。

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。

一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「プププ」が鳴り送信できません。

[PTT]キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

中継通話

直接では電波が届かない相手と別売の中継器を介して交互に通話できます。電波の届くところにいれば人数に制限なく通話できます。中継器と本機または中継通話に対応した特定小電力トランシーバーを2台以上使用します。

■ チャンネルを合わせる

[▽]または[△]キーを押して中継通話用チャンネルのL10～18、b12～29を選択します。ディスプレイに「中継」が点灯します。



A digital display showing 'A L 10' and '中継' (Relay) below it.

■ 受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。

ランプが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

■ 送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。

ランプが赤色に点灯し、送信が始まります。

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ お使いになる中継器の設定をご確認ください。
中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機にもグループトーク機能を設定してください。

注意 中継用チャンネルでは、子機同士の直接通話はできません。それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。子機-中継器間、子機-子機間は10m以上離してください。

コールトーン機能

送信中に[▽]または[△]キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。[▽]と[△]キーでは音色が異なります。

グループトーク機能

グループトーク機能を設定するとグループ番号が一致した場合にしか受信音を出しません。他のユーザーと混信しやすい場所で設定すると便利です。

■ [GROUP]キーを押す

チャンネル表示の右側にグループ番号が点灯します。

■ グループ番号を合わせる

[FUNC]キーを押しながら[▽]または[△]キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

グループ番号は01～50を選択できます。

一般的に01番がよく使用されます。混信を避けるため01番以外に設定することをおすすめします。

A rectangular digital display with a black border showing the text 'L05-01' in a white, segmented font. The 'L' is on the left, followed by '05', a hyphen, and '01'.

■ 送信する

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

チャンネルとグループ番号が一致している人とのみ通話ができます。ただしグループトーク機能を設定していない人にはこちらの声が聞こえます。

キーロック機能

キーロックをしておくことで誤操作を防止できます。設定手順が異なるだけで、どちらのキーロックも操作を受け付けなくなるキーは同じです。

■ 簡易キーロック(LoC-1)

[FUNC]キーを約2秒押します。「LoC-1」が点滅した後が点灯します。解除するには同じキー操作をします。

■ 通常キーロック(LoC-2)

[FUNC]キーと[GROUP]キーを同時に約2秒押します。「LoC-2」が点滅した後が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

減電池表示

電池の残量が少なくなると「」が点灯し、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。

さらに残量が少なくなると「」が点滅します。点滅したら新しい電池と交換するか充電電池を充電してください。

メモ

「電源が入らない」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」「オンオフを繰り返す」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、新しい電池と交換するか充電電池を充電してください。
セットモードの電池選択設定が適正でないとき正しいタイミングで電池交換時期を表示しません。

セットモード

各種機能を用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。
セットモードの詳しい説明は詳細取扱説明書をご覧ください。

■ セットモードにする

- ①[FUNC]キーを押しながら[SET]キーを押します。セットモードに入り項目が表示されます。
- ②[SET]キーを押すごとに項目が切り替わります。[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
- ③[▽]または[△]キーを押して設定値を変更します。
- ④[PTT]キーを押して設定を完了します。

| No. | 項目 | 機能 | 選択項目 | 初期値 |
|-----|--------|-------------------|-------------|------|
| 1 | bAt-AL | 電池選択(アルカリ/ニッケル水素) | AL/ni | AL |
| 2 | Cmp-oF | コンパnder(雑音低減) | oF/on | oF |
| 3 | vo-oF | VOX(音声検出送信) | oF/Lo/Hi | oF |
| 4 | SCr-oF | 秘話 | oF/on | oF |
| 5 | bP-3 | 操作音量 | OFF~5 | 3 |
| 6 | EdP-oF | エンドピー(送信終了音) | oF/on/PP | oF |
| 7 | bEL-oF | ベル(呼び出しお知らせ) | oF/on | oF |
| 8 | LmP-5 | ランプ(バックライト) | oF/5/on | 5(秒) |
| 9 | LEd-on | ランプ(LED) | oF/on | on |
| 10 | HLd-oF | PTTホールド(送信保持) | oF/on | oF |
| 11 | Ptt-on | PTTオン/オフ(送信禁止) | oF/on | on |
| 12 | At-on2 | 中継接続手順 | oFF/on1/on2 | on2 |
| 13 | EAr-on | イヤホン断線検知 | oF/on | on |
| 14 | CLb-oF | コールバック | oF/on | oF |
| 15 | PwL-Hi | 送信出力 | Lo/Hi | Hi |
| 16 | EmG-oF | 緊急通報 | oF/on | oF |
| 17 | rmt-oF | 接客モード | oF/Hd/tH/vo | oF |
| 18 | vib-oF | バイブレーション | oF/1/2/3 | oF |
| 19 | bLt-oF | Bluetooth | oF/on | oF |
| 20 | ○○○-○○ | ペアリング機器一覧 | — | — |
| 21 | bky-vo | BTマイク▲/▼キー | vo/CH | vo |

リセット

設定がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC]キーを押しながら電源を入れます。ディスプレイ全点灯中に[FUNC]キーを離すと、「LO1」が表示され工場出荷状態に戻ります。

Bluetooth機能

本機のBluetooth 機能に対応するアクセサリーを使って通話ができます。

- ・ Bluetooth の通信範囲は約10m（目安）です。
- ・ 登録台数は最大で8台です。8台を超えるとペアリング情報が古いものから自動で削除されます。また、複数台同時接続はできません。
- ・ アクセサリーの音量は本機のみでも調整できます。
- ・ Bluetooth 接続時は、本体スピーカーや有線式オプションのイヤホンまたはスピーカー出力がオフになります。

注意

・ 下記の機能はBluetooth に接続していると使えません。Bluetooth の設定をオフにしたうえで、有線式のマイクをお使いください。

コールバック、接客モード(タッチ/ボイス)

- ・ 本機の音量が極端に小さい、または極端に大きい場合、アクセサリーの音量では適切に調整できなくなります。本機のみで適度な音量に調整してください。
- ・ 受信中に受信音の大きさが変化することがあります。一定のピープ音や強い信号を受信すると、強弱を一定レベルにして聞きやすくするためです。

■ ペアリング

ペアリングとはマイクなどのBluetooth 対応アクセサリー（以下、アクセサリー）と本機をお互いに登録し、接続する操作です。

■ 本機をペアリングモードにする

セットモードで「bLt」を選択し、[△]キーを押して「on」にします。その後[PTT]キーで確定します。ランプが青色で高速点滅します。

重要

Bluetooth機能はセットモードで「bLt」を「on」に設定してから約3秒後に起動し、ランプが青色で高速点滅します。また、本機の電源を入れた際も同じように約3秒後にBluetoothが起動しますのでペアリングしている機器と接続するまでに時間がかかります。

■ アクセサリーをペアリングモードにする

操作の前にアクセサリーの取扱説明書もお読みください。

- ・ インジケーターが橙色に点灯後、緑色で高速に点滅し、「ペアリング中です」と音声聞こえるまで[電源]ボタンを長押しします。

※アクセサリーを初めてご使用になるときは電源をオンするだけで、ペアリングモードになります。

■ 本機とアクセサリーをペアリングする

上記の操作で本機とアクセサリーが共にペアリングモードになると自動で接続します。接続できたらランプが青色で遅く点滅します。

■ 2台目以降のペアリングモード

2台目以降のアクセサリーとペアリングを行う場合は上記の後に一度電源を切り、[サブPTT]キーを押しながら電源を入れます。電源が入った後も[サブPTT]キーを押し続け、ランプが青色で高速に点滅したら手を離します。

重要

- ・複数のBluetooth 機器がある場所では、ペアリングしたいアクセサリーを正しく検索できないことがあります。このような時は必要なアクセサリーだけになるように、使用していないBluetooth 機器の電源をオフにするか、それらの機器から離れてください。
- ・リセットすると登録されたペアリング情報は全て消え、復元できなくなります。あらかじめ登録したい機器とペアリングしてください。

メモ

- ・ペアリング後の動作について、一度ペアリングしたアクセサリーとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。下記の条件を満たしている場合は自動で接続します。
Bluetooth 機能が「on」、待受状態、アクセサリーが電源オン
- ・セットモード「ランプ (LED)」をオフにすると、ランプ点滅の代わりにディスプレイのドット「.」が点滅します。

■ アクセサリーのキー操作

アクセサリーの[△/▽]キー操作は、初期設定ではアクセサリーの受信音量変更に割り当てられています。前述のセットモード「BTマイク△/▽キー」でチャンネル変更にも割り当てることができます。

メモ

- 以下の操作は本機のキー操作で行ってください。
・設定変更 ・ペアリング接続等

その他の機能

詳しい操作方法や本書には記載していない拡張機能については詳細取扱説明書をご覧ください。

■ ACSHモード

既に使用しているトランシーバーのチャンネルとグループ番号をスキャンして検出し、本製品に同じものを自動設定する機能です。使い方については別紙の「すぐにつながるACSH(アクシュ)機能」をご覧ください。

■ デュアルオペレーションモード

メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話できるモードです。

■ リモコンモード

本機をリモコンとして弊社製中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。

■ 連結中継子機

連結中継システムにアクセスする子機モードです。

故障とお考えになる前に

| 症状 | 原因 | 処置 |
|----------|---------------|---------------------------|
| 電源が入らない | 電池の入れ方が間違っている | 電池を正しく取付けてください |
| | 電池が消耗している | 新しい電池に交換するか充電機を充電してください |
| 音が出ない | 音量が低すぎる | 適切な音量に調整してください |
| 受信できない | 相手とチャンネルが違う | 同じチャンネルにしてください |
| | 相手と距離が離れている | 通信距離を目安に送信してください |
| 送信できない | 電波を受信している | 電波がなくなってから送信してください |
| | 3分通信制限を超過している | [PTT]キーを離して2秒経過後に送信してください |
| キー操作できない | キーロックされている | キーロックを解除してください |
| 充電できない | 端子が汚れている | 端子の汚れをふき取ってください |
| | 充電機が劣化している | 新しい充電機に交換してください |

オプション一覧

| | | | |
|----------|--------------------|-----------|-------------------------|
| EBP-179 | ニッケル水素バッテリー | EME-63A | ヘルメット用ヘッドセット |
| EDC-179A | ツイン充電器 (ACアダプター付属) | EME-64A | ヘッドセット |
| EDC-179R | 連結ツイン充電スタンド | EMS-62 | スピーカーマイク |
| EDC-181A | シングル充電器セット | EMS-71 | 防水スピーカーマイク |
| EDC-162 | ACアダプター (連結充電用) | EME-80BMA | Bluetooth イヤホンマイク |
| EDC-287 | ACアダプター (シングル保守用) | EMS-87B | Bluetooth 防水スピーカーマイク |
| EME-58 | ストレートコードイヤホン 耳かけ型 | ESC-66 | ソフトケース |
| EME-60 | ツイストコードイヤホン カナル型 | EDS-44 | PTT スイッチカバー |
| EME-32A | イヤホンマイク カナル型 | EDS-45 | Bluetooth用送信ボタン (指巻) |
| EME-48A | イヤホンマイク 耳かけ型 | EDS-46 | Bluetooth用送信ボタン (スティック) |
| EME-62A | 咽喉イヤホンマイク カナル型 | | |

* ベルトクリップはスペア部品をご用意しています。販売店にご相談ください。

* スピーカーマイクはPTTホールド、VOX機能、コールバック機能をご使用になれません。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

定格

| | | |
|---------|---|----------------------|
| 送受信周波数 | Lチャンネル | 421.8125~421.9125MHz |
| | | 422.2000~422.3000MHz |
| | | 440.2625~440.3625MHz |
| | bチャンネル | 421.5750~421.7875MHz |
| | | 422.0500~422.1750MHz |
| | | 440.0250~440.2375MHz |
| 制御チャンネル | 421.8000MHz、422.1875MHz 440.2500MHz | |
| 電波形式 | F3E (FM)、F1D (FSK) | |
| 送信出力 | 10mW、1mW | |
| 受信感度 | -14dBu (12dB SINAD) | |
| 音声出力 | 60mW以上 (内部スピーカー、外部出力：8Ω) | |
| 通信方式 | 単信、半複信 | |
| 電源電圧 | DC1.5V(単三形アルカリ乾電池)、DC1.2V(EBP-179使用時) | |
| 消費電流 | 送信時：約 200mA、待受時：約 200mA バッテリーセーブ時：約 22mA | |
| 動作温度範囲 | -10℃~+50℃ (充電：0℃~+40℃) | |
| 寸法 | 高さ92mm×幅54mm(突起物除く) 電池収納部の突起除く厚さ18.2mm(厚さ最大29.6mm) | |
| アンテナ長 | L：約164.0mm、M：76.2mm | |
| 質量 | L：約106g (ベルトクリップ・電池除く) M：約98g (ベルトクリップ・電池除く) | |
| 使用時間の目安 | 単三形アルカリ乾電池使用時 : 約30時間 ニッケル水素バッテリー使用時 : 約25時間 | |

- ・仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
- ・本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略したりしている場合があります。本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- ・乱丁、落丁はお取り替えいたします。
- ・技術基準上の理由から、アンテナの長さを変更することはできません。同じ長さの修理交換はサービスセンターで承ります。

ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
総務省技術基準適合品
Bluetooth Module XE1126内蔵

DJ-P422B-T

詳細取扱説明書



注意 ニッケル水素充電池 EBP-179 をご利用になる際は、減電池表示を正しく機能させるためにセットモード「電池選択」を ni (ニッケル水素充電池) に設定してください。

アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は免許、資格が不要の特定小電力無線機器です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。
本機の性能を十分に発揮させるために、付属取扱説明書と合わせて最後までお読みいただくようお願いいたします。

アルインコ株式会社

目次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 各部の名前とはたらき | 3 |
| 2. Bluetooth 機能 | 4 |
| 3. 連結子機通話 | 6 |
| 4. ACSH (アクシュ) | 8 |
| 5. エアクローン | 9 |
| 6. デュアルオペレーション | 10 |
| 7. 中継リモコン | 12 |
| 8. 連結リモコン | 14 |
| 9. 最適チャンネルサーチ | 15 |
| 10. EDS-44 専用モード | 16 |
| 11. リセット | 17 |
| 12. セットモード一覧表 | 18 |
| 13. 通話モード別機能表 | 19 |
| 14. セットモード基本操作 | 21 |
| 15. セットモード項目 | 21 |

1. 各部の名前とはたらき

前面部

アンテナ

アンテナは外れないようになっています。故障の原因になるため、アンテナをもって本機をぶら下げたり無理な力を加えたりしないでください。

ランプ

緑色点灯 : 受信
赤色点灯 : 送信
青色遅い点滅 : Bluetooth接続中
青色2回点滅 : Bluetooth未接続
青色高速点滅 : Bluetoothペアリングモード

PTT (送信) キー

送信するときに押します。

サブ PTT キー

拡張機能で使います。
初期設定では押すと送信します。

ディスプレイ

▽ (ダウン) キー

降順にチャンネルを変更するときに押します。

電源/音量ツマミ

※少しずつ音量を上げて適切な音になるように調整してください。

有線式オプション端子

別売有線式オプションを接続することができます。
※接続するにはしっかりと奥までねじ込んでください。

スピーカー

受信音が鳴ります。

マイク

送信するときはここに向かって話します。シールやステッカーでふさがないようにください。声を拾わなくなります。

FUNC キー

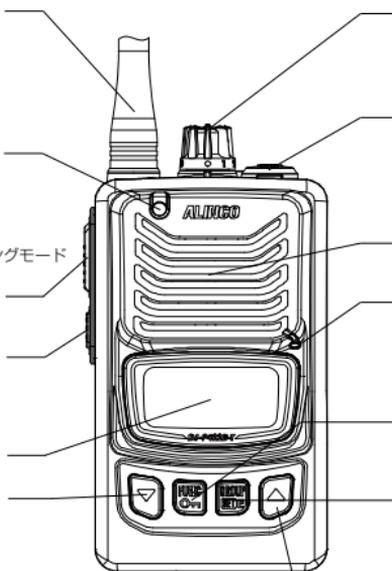
キーロックやセットモードに入る場合に使用します。

GROUP キー

グループトークを設定するときに押します。

△ (アップ) キー

昇順にチャンネルを変更するときに押します。



ディスプレイ



2. Bluetooth 機能

本機にはBluetooth機能を搭載しています。本機能に対応する別売の弊社製イヤホンマイク、スピーカーマイク（以下アクセサリ）を使って通話ができます。最大8台までのアクセサリをペアリングすることができますが、同時接続はできません。またペアリング台数が8台を超えるとペアリング情報が古いものから自動で削除されます。複数のアクセサリをペアリングするときは正しく動作することを確認しながら1台ずつ個別に登録してください。他社製のBluetooth 対応イヤホン、イヤホンマイク類はペアリングできたとしても正常に動作しないおそれがあります。Bluetoothの通信範囲の目安は約10mです。無線機から離れても送信することができます。

- ・一度ペアリングしたアクセサリとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。
- ・アクセサリの音量は本機の電源/音量ツマミでも調整できます。適切な音量に合わせてください。
- ・Bluetooth 接続時は、本体スピーカーや有線式オプションのイヤホンまたはスピーカー出力がオフになります。オンに切替えることができません。

注意 下記の機能はBluetooth に接続していると使えません。Bluetooth の設定をオフにしたうえで、有線式のマイクをお使いください。
コールバック、接客モード (タッチ/ボイス)

- ・本機の音量が極端に小さい、または極端に大きい場合、アクセサリの音量では適切に調整できなくなるため、ご注意ください。
- ・受信中に受信音の大きさが変化することがあります。一定のピーブ音や強い信号を受信すると、強弱を一定レベルにして聞きやすくするためです。
- ・複数台同時接続はできません。また他社製のアクセサリについて、ペアリングができたとしても、正常に動作しないおそれがあります。
- ・有線式オプションとの同時使用はできません。アクセサリが接続されている場合は、有線式オプションのイヤホン等からは音声は聞こえません。

■ ペアリング

ペアリングとは本機のBluetooth機能に対応した弊社製アクセサリと本機をお互いに登録し、接続する操作です。

重要 複数のBluetooth 機器がある場所では、ペアリングしたいアクセサリを正しく検索できないことがあります。このような時は必要なアクセサリだけになるように、使用していないBluetooth 機器の電源をオフにするか、それらの機器から離れてください。

- ・リセットすると登録されたペアリング情報は全て消え、復元できなくなります。あらかじめ登録したい機器とペアリングしてください。
- ・8 台を超えてペアリングすると、古いペアリング情報は自動で消えます。ペアリング情報が消えたら、再度ペアリングしてください。
- ・操作を始める前に、Bluetooth マイクのバッテリーを充電して電源が切れないよう、ご注意ください。イヤホンマイクであれば、イヤホンを耳に装着します。

① 本機をペアリングモードにする

- ・セットモード「Bluetooth」で「bLt」を選択し、「△」キーを押して「on」にします。その後「PTT」キーで確定します。しばらくするとランプが高速に青色点滅します。

重要 Bluetooth機能はセットモードで「bLt」を「on」に設定してから約3秒後に起動し、ランプが青色で高速点滅します。また、本機の電源を入れた場合も同じように約3秒後にBluetoothが起動しますのでペアリングしている機器と接続するまでに時間がかかります。

* 2台目以降のアクセサリとペアリングする場合、以下をお読みください。

② 2台目以降のペアリングモード

・上記の後に一度電源を切り、「サブPTT」キーを押しながら電源を入れます。電源が入った後もランプが高速に青色点滅するまで「サブPTT」キーを押し続けます。

③ アクセサリーをペアリングモードにする

操作の前にアクセサリの取扱説明書もお読みください。

・インジケータが点灯後、緑で早く点滅するまで「電源」ボタンを長押しします。
・「ペアリング中です」と音声がかえ、インジケータが緑で早く点滅したら、「電源」ボタンから手を放します。

*弊社製アクセサリでは、初回電源投入時に自動でペアリングモードになります。

*ペアリングできる無線機が見つからない状態が5分つづくと、電源がオフします。

④ 本機とアクセサリをペアリングする

上記の操作で本機とアクセサリが共にペアリングモードになると自動で接続します。

接続できたらランプが周期的に1回青色点滅します。



参考

- ・ペアリング後の動作について、一度ペアリングしたアクセサリとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。
- ・下記の条件を満たしている場合は自動で接続します。
Bluetooth機能が「on」、待受状態、アクセサリが電源オン
- ・セットモード「ランプ(LED)」をオフにすると、ランプ点滅の代わりにディスプレイのドット「•」が点滅します。



注意

- Bluetoothの通信は、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化します。またペアリングが切断されることがあります。
- ・電子レンジなど
 - ・無線LAN
 - ・他のBluetooth機器
- 上記機器が原因の場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、原因の機器から離れてください。またアクセサリと本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

■ キー操作

アクセサリの「△/▽」キー操作は、アクセサリの受信音量変更に割り当てられています。後述のセットモード「BTマイク△/▽キー」でチャンネル変更にも割り当てることができます。割り当て以外の操作はできません。



参考

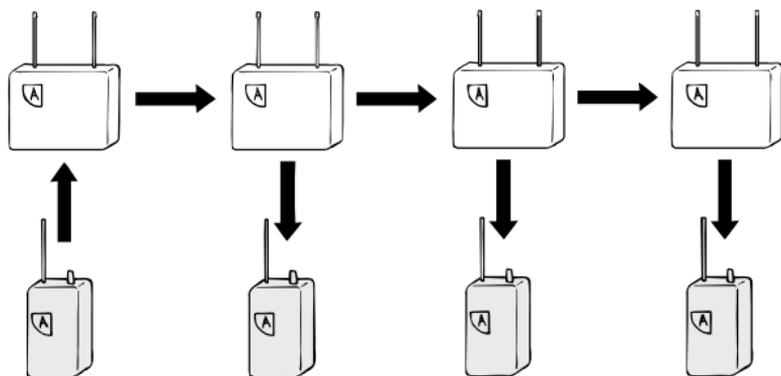
- 以下の操作は本機のキー操作で行ってください。
- ・設定変更
 - ・スキャン
 - ・ペアリング接続
 - ・モニターモード等

3. 連結子機通話

専用の中継器 (DJ-P113R/DJ-P116Rなど) を複数台 (最大4台) 使用して通話エリアを拡大できるモードです。チャンネルが同じ無線機と中継器を介して交互に通話できます。電波の届くところにいれば人数に制限なく通話できます。グループトークについてはあらかじめ最適なものがプリセットされています。本機は自動で最寄りの中継器を判別するため、使用者は中継エリア内を移動してもチャンネル変更する必要がありません。

- 重要**
- ・子機は最適な中継器を探してスキャンするので、通常のバッテリーセーブ (on1) より電池の消耗が早くなります。
 - ・このモードは一般的な中継通話対応の無線機では通話できません。本機を含む専用の無線機が必要です。
 - ・中継器の設定や設置に関する説明や注意点については、中継器の取扱説明書をお読みください。

チャンネル：A～H



■連結子機通話にする

- ① 「FUNC」キーを約2秒間長押しして簡易キーロックをかけます。キーロック後ディスプレイに「**ON**」が点灯します。
- ② 簡易キーロック後10秒以内に「GROUP」キーを4回、「FUNC」キーを4回続けて押します。キーを押し終わると「ビビ」音が鳴り、ディスプレイに「Lk-A1」とアイコンが「**中継**」表示されます。ディスプレイの「-」(ハイフン)が点滅しますが、これは自動で最寄りの中継器にアクセスするスキャンモードです。通常はこのままでお使いください。



参考

交互通話や中継子機モードに戻りたいときは、もう一度同じ操作をすることで元に戻ります。もしくは簡易リセットでモード変更を含めて設定内容を初期化できます。

■ 通話確認

- ① 本機のチャンネルを「A~H」の任意のものへ変更します。「FUNC」キーを押しながら「▽」キーまたは「△」キーで変更できます。
- ② 中継器のチャンネルを本機と同じものへ変更します。中継器の取扱説明書をご参照の上変更してください。また「連結リモコン」(P.14)でも中継器のチャンネルを変更できます。
- ③ 送信元の「PTT」キーを押して送信状態になると、アクセス音が鳴ります。鳴り終わってからマイクに向かって話します。
- ④ 送信元の音声を受信され、通話できているか確認します。

■ 個体番号

初期設定では、本機が中継エリア内を移動すると自動で最寄りの中継器を判別します。特定の中継器だけにアクセスする場合は、個体番号を設定することができます。

- ① 待受状態で「GROUP」キーを押すと、ディスプレイの「-」の点滅が点灯に変わり、個体番号が設定されます。「-」が点滅している場合は最寄りの中継器を自動判別し、点灯している場合は特定の中継器だけに固定されます。
- ② 個体番号を変更する場合は、「▽」キーまたは「△」キーで選択します。

注意 再度自動判別を再開するには、待受状態で「GROUP」キーを押して個体番号を解除してください。電源の再起動では、自動判別の再開をしません。



参考

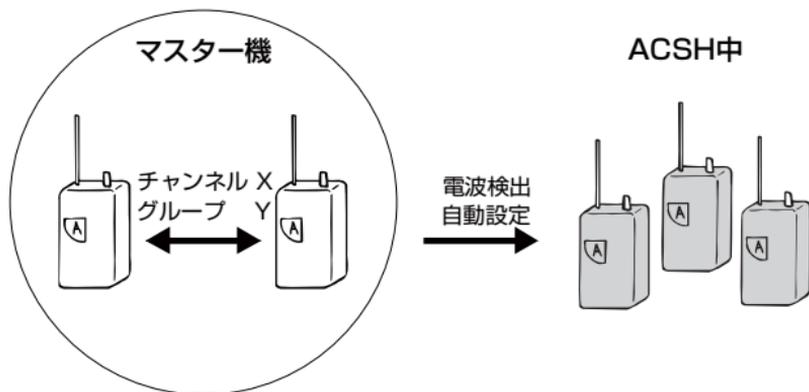
個体番号が設定されると、本機をリモコンとして中継器のチャンネルなどを遠隔操作できます。詳しくは「連結リモコン」(P.14)をお読みください。

4. ACSH (アクシュ)

すでに使用している無線機 (交互通話は他社製も含む) のチャンネルとグループ番号をスキャンして、本機に同じ内容を自動設定する機能です。交互通話・中継子機通話に対応しており、交互通話の場合は、あらかじめ通話モードを設定したマスター機と本機が必要です。中継子機通話の場合は、あらかじめ通話モードを設定したマスター機 (中継器) と本機 2 台が必要です。

- 重要**
- ・自動設定中は電源を切らないでください。自動設定せずに停止します。
 - ・本機が電波を検出しているときは、マスター機のマイクから音声が入らないようにご注意ください。電波が乱されて正常に判定できないことがあります。
 - ・グループ番号の検出中にトーン周波数が近いものは動作が不安定になったり、誤判定することがあります。(例: 01 番: 67Hz, 39 番: 69.3Hz)
その場合グループ番号を01 番~ 38 番の範囲に設定してからご使用ください。
 - ・自動設定後はキーロックがオンします。手動でチャンネルやグループ番号を変更したい場合は、簡易キーロックをオフにします。

交互通話・中継子機通話



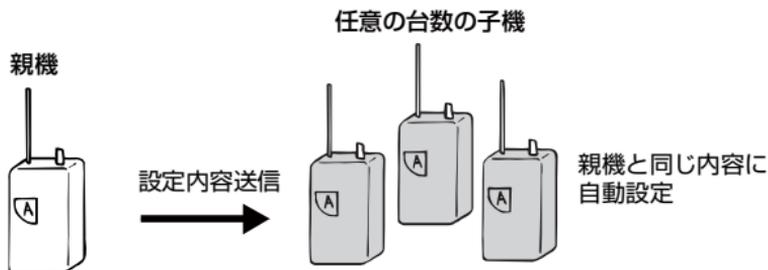
■設定確認

- ① マスター機と任意の本機を用意します。誤判定を防ぐために近距離で作業してください。複数台同時に設定が可能です。
- ② 本機の電源を切ります。
- ③ ディスプレイに「ACSH」と表示されるまで「GROUP」キーを押し続けながら電源を入れます。
- ④ 表示後、マスター機を送信します。
- ⑤ 数秒から最長で2分程度待ちます。マスター機の電波を検知すると「ビビ」音とともにディスプレイに「ACS-rn」と表示されます。
- ⑥ 設定が終わると「ブルル」音とともに、ディスプレイに「ooo ooo」が表示後、自動的に再起動します。その後正しく設定されているか通話確認します。
- ⑦ マスター機の送信を停止します。

5. エアクローン

セットモード項目も含めて全て設定済みの本機を親機として、状態が異なる別の DJ-P422B-T に親機の設定内容を送信し、自動設定する機能です。異なる機種やBluetoothのペアリング情報はクローンできません。親機の近くに集めておけば、複数の子機を一度にクローンできます。

- 重要**
- ・自動設定中は電源を切らないでください。自動設定せずに停止します。
 - ・自動設定後はキーロックがオンします。手でチャンネルやグループ番号を変更したい場合は簡易キーロックをオフにします。
 - ・セットモード「レストア」(P.32)で保存した内容はクローンできません。



■設定確認

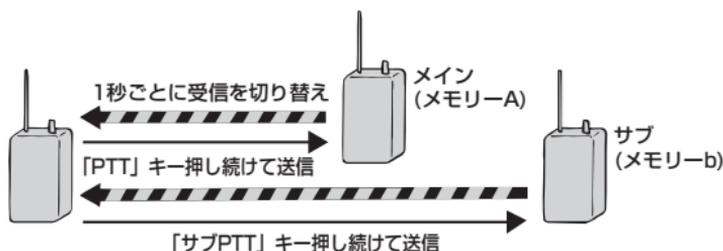
- ① 親機と任意の子機を用意します。誤判定を防ぐために近距離で作業してください。
- ② 親機と子機の電源を切ります。
- ③ 親機と全ての子機についてディスプレイに「AirCLn」と表示されるまで「サブPTT」キーと「△」キーを同時に押し続けながら電源を入れます。
- ④ 親機と子機とも「AirCLn」表示が出たら親機の「PTT」キーを約2秒間押し続けると「ビビ」音とともにディスプレイに「Air-ru」と表示されます。
- ⑤ 設定情報を受信すると「ビビ」音が鳴りランプが青色点滅し「Air-O*」と表示されます。
*は正常にクローンされると1~8と順番に表示されます。
- ⑥ 設定が終わると「ブルル」音とともに、ディスプレイに「ooo ooo」が表示後、自動的に再起動します。その後親機を再起動させ、通話確認します。

6. デュアルオペレーション

あらかじめメモリー登録したメイン/サブの 2つのチャンネルを交互に受信し、そのどちらとも通話できるモードです。使用前にメイン A/サブ b の登録が必要です。登録できる通話モードは交互通話・中継子機通話です。

- 重要**
- ・サブ側をメモリー登録する場合は、セットモード「緊急通報」(P.23) はオフにしてください。登録後は設定をオンにすることで、緊急通報ができます。ただし常にメインで緊急通報が動作します。
 - ・メインとサブが同じチャンネルだと、ディスプレイに「E」表示が点滅して本機能は動作しません。必ず別のチャンネルに設定してください。
 - ・再起動をすると、デュアルオペレーションが解除されます。再起動後も常にデュアルオペレーションを使用する場合は、キーロックを設定してください。
 - ・EDS-44 専用モード (P.16) でデュアルオペレーションを使用する場合は、EDS-44 専用モードにした後に、デュアルオペレーションに切替えてください。

チャンネル：L01～L09、b01～b11、L10～L18、b12～b29（登録）



■設定確認

- ① サブチャンネルをメモリー登録します。チャンネルを選択後「GROUP」キーを長押しします。「b writE」と表示され、登録されます。
- ② メインチャンネルを選択した後、約 2 秒間待機した後に一度電源を切ります。
- ③ 「マ」キーを押しながら電源を入れると、ディスプレイに「dUAL」と表示されデュアルオペレーションに入ります。

■送信（メイン/サブ）

[本機操作]

メイン A : 「PTT」キーを押し続けます。ディスプレイに「mAin」が表示されたらマイクに向かって話します。

サブ b : 「サブPTT」キーを押し続けます。ディスプレイに「Sub」が表示されたらマイクに向かって話します。

[有線式オプション または Bluetooth 対応アクセサリ操作]

メイン A : 「PTT」キーを押し続けます。ディスプレイに「mAin」が表示されたらマイクに向かって話します。

サブ b : 「PTT」キーを1回押しした後、続けて2回目を押し続けます。ディスプレイに「Sub」が表示されたらマイクに向かって話します。

話し終わったら「PTT」キーまたは「サブPTT」キーを離します。待受に戻ります。話し終わって約 5 秒間は最後に送信した側を保持します。その後 1 秒間隔でメイン/サブを切替えます。

■受信（メイン/サブ）

メインA : 受信するとディスプレイに「main」が表示され「ビッ」音が鳴ります。

サブ b : 受信するとディスプレイに「Sub」が表示され「ビッ」音が鳴ります。



参考

- ・ main/subが表示された後は続けて送信中/受信中のチャンネル表示に切替わります。
- ・ 受信を交互に切替える仕様上、バッテリーセーブが強制的にオフになりバッテリー消費が大きくなります。
- ・ 後述のセットモード「サブPTTキー割り当て」を Pt 以外に設定した場合、「PTT」キーを連続で2回押すと、サブ送信します。

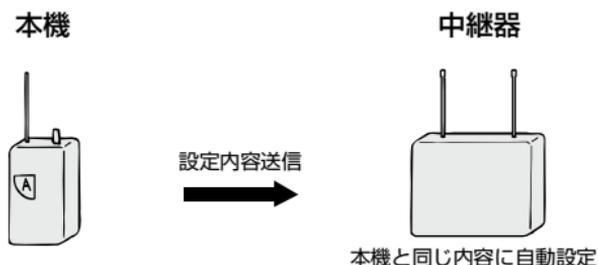


注意 EDS-44 専用モードでデュアルオペレーションを使用する場合は、専用モードに入る前にセットモード「オプションPTT設定」(P.26)を dSb に設定してご使用ください。

7. 中継リモコン

本機をリモコンとして中継器のチャンネルを遠隔設定できる機能です。

重要 中継器の設定に関する説明や注意点については、中継器の取扱説明書をお読みください。



■リモコンモード

- ① 「△」キーを押しながら電源を入れます。ディスプレイに「rEnCon」と表示後「r」が点滅し、アイコンが「中継」表示されます。
- ② チャンネルやグループ番号を設定します。チャンネルとグループ番号を設定すれば通話は可能です。必要に応じて下記の各種設定方法で中継接続手順、中継ハングアップ、中継アラーム、ノイズキャンセラーの各機能も設定できます。詳細は後述をお読みください。
- ③ 待受で「PTT」キーを長押しすると「ビビッ」音が鳴り、ディスプレイに「SEnd」が表示され、送信します。誤判定を防ぐために近距離で作業してください。
- ④ 設定が完了すると「ブルル」音とともに、ディスプレイに「ooo ooo」と表示されます。その後自動的に待受に戻ります。その後再起動しリモコンモードから抜け、中継器にアクセスできるか確認します。

■各種設定方法

- ① リモコンモード中に「FUNC」キーを押しながら、素早く「GROUP」キーを押します。
- ② 項目を順序通りに変更するには「GROUP」キーを押し、逆は「FUNC」キーを押します。
- ③ 設定値の変更は「▽」キーまたは「△」キーを押します。
- ④ 項目の確定は「PTT」キーを押し、待受に戻ります。

1：中継器接続手順 (At)

設定値 oF/on (初期値 on)

中継アクセス時の自動接続手順を変更、解除する機能です。通常は on にしてください。他社製品の中継器にアクセスする場合、設定値を変更 (oFF/on1) するとアクセスタイミングによっては、通信できる場合があります。

2：中継ハングアップ (HuP)

設定値 00/05 (0.5秒) /10 (1秒) /20 (2秒) (初期値 00)

無線機からの送信が終わっても中継動作を保持する時間を設定できます。中継器からの電波を受信すると正しく中継器にアクセスできていることが分かります。

3：中継アラーム（AL）

設定値 oF/on（初期値 oF）

中継動作終了時に中継器からアラーム音を送信する機能です。アラーム音を受信すると正しく中継器にアクセスできていることが分かります。

4：ノイズキャンセラー（niS）

設定値 oF/on（初期値 oF）

ノイズキャンセラー対応中継器に対して設定できます。ノイズキャンセラーの詳細な動作は中継器の取扱説明書をご参照ください。

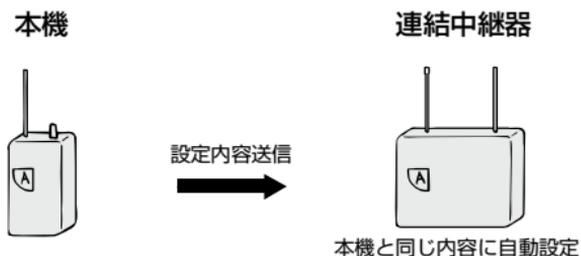
重要

- ・非対応機に ON 設定をリモコン転送しても、本機能は動作しません。
- ・中継器のノイズキャンセラーをオンにしたときは、子機のコンバンダーなど特定の機能の設定をオフにしないと正常に動作しません。必ず中継器の取扱説明書の「ノイズキャンセラー」の項目をご参照のうえ、子機の設定にもご留意ください。

8. 連結リモコン

本機をリモコンとして専用中継器 (DJ-P113R/DJ-P116Rなど) のチャンネル等を遠隔設定できる機能です。ここではチャンネルと個体番号の設定方法のみ説明しています。

重要 中継器の設定や設置位置に関する説明や注意点については、中継器の取扱説明書をお読みください。



■設定確認

- ① 本機を連結子機通話に設定し、あらかじめチャンネルを設定します。
- ② 待受で「GROUP」キーを押し、個体番号を固定に設定します。ディスプレイの「-」が点滅から点灯に変わります。
- ③ 個体番号を変更する場合は、「マ」キーまたは「△」キーで選択します。
- ④ 待受で「GROUP」キーを約3秒間長押しし、設定を送信します。
- ⑤ 送信中はディスプレイに「rm-**」と表示されます。（**：個体番号）誤判定を防ぐために近距離で作業してください。
- ⑥ 設定が完了すると「ブルル」音とともに、ディスプレイに「000 000」と表示されます。その後自動的に待受に戻ります。中継器にアクセスできるか確認します。
- ⑦ 最後に待受で「GROUP」キーを押し、個体番号を自動に設定します。ディスプレイの「-」が点灯から点滅に変わります。



注意 個体番号が固定に設定されていない場合、送信することができません。



- ・設定内容送信後に特定の中継器だけにアクセスする場合は、設定内容に合わせて個体番号を設定してください。
- 参考** ・中継器の「ピーコン間隔時間」などの設定値もリモコンで設定することができます。詳しくは後述のセットモードをお読みください。

9. 最適チャンネルサーチ

通話できるチャンネルをすべて自動受信（サーチ）して、使用頻度を表示できます。

- 重要**
- ・窓際や通話エリア内で一番見通しの良い場所に置くと、遠くからの外来電波も拾いやすくなります。
 - ・本機能はあくまで空きチャンネルを見つける目安としてお使いいただくものです。
 - ・サーチによる空きチャンネル判定の精度は保証できません。
 - ・使用頻度が高いと判定されたチャンネルの上下のチャンネルは、使用頻度が「0」でも実用を始めると混信しやすい可能性があります。「0」が離れたチャンネルにもある時はそちらを選んでください。
 - ・チャンネル「L01」「b01」「L10」「b12」はメーカーを問わず初期値のチャンネルに設定されているため、避けておくことをおすすめします。
 - ・サーチ中はバッテリーセーブが動作しないため、電池の消耗が早くなります。

本機



■最適チャンネルサーチモード

- ① 連結子機通話では本モードにすることはできません。連結子機通話以外のモードにしてから下記の操作をしてください。
- ② 「サブPTT」キーと「▽」キーを同時に押しながら電源を入れます。
- ③ ディスプレイに「bStScn」と表示されたあと「L01. 0」表示され、チャンネルが0.5秒ごとに自動的に切り替わり、受信信号があるかサーチします。
- ④ 本機の使用を想定する場所に数十分程度、設置します。
- ⑤ 「PTT」キーを約3秒間長押しします。「ブブブ」音が鳴ってサーチが止まり、「L01. (数値)」が表示されます。
- ⑥ 「△」キーまたは「▽」キーを押して、チャンネルを切替えていき、チャンネルの右側に表示されている数値を確認します。数値が大きいほど使用頻度が多く、小さいほど低くなります。交互通話と中継通話のチャンネルがあるので使用したいチャンネルで使用頻度が「0」のチャンネルを確認しておきます。
- ⑦ 本機の電源を入れ直して通話モードに戻り、使用頻度が「0」のチャンネルに設定します。



参考

再度サーチを行う場合は、再度「PTT」キーを約3秒間長押しします。
その場合、現在の測定結果は初期化されて消えますのでご注意ください。

10. EDS-44 専用モード

EDS-44 専用モードでは、本機の「PTT」キー / 「サブPTT」キーの代わりに、送信キーを押すことで送信することができます。

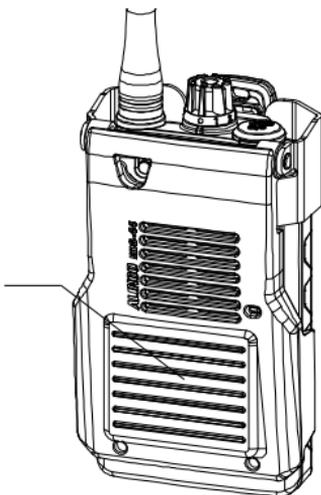
あらかじめ別売 PTT スイッチカバー（以下、EDS-44）を本機に取付けてください。専用の動作となります。

重要 ・ EDS-44 専用モード中は以下の機能の動作や操作はできません。
「PTT」キー / 「サブPTT」キー送信、セットモード、チャンネル変更

別売 EDS-44 (PTT スイッチカバー) 取付け部

送信キー

EDS-44 専用モードにすることで、PTT スイッチカバー全体を押し込むと送信ができます。



■設定確認

- ① 装着後、送信キーを押したまま電源を入れます。電源が入った後も約5秒間送信キーを押し続けます。
- ② ビープ音「ビビビビビ」が鳴ったら手を離します。ディスプレイには「EdS-44」が点滅します。
- ③ 送信キーを押すと送信でき、有線式イヤホンマイクまたは Bluetooth 対応アクセサリのマイクに向かって話すことができます。本体マイクや有線式スピーカーマイクは使用できない仕様となっています。
- ④ 専用モードを解除するには、無線機の電源を切り、①手順と同じようにビープ音「ビビ」が鳴るまで送信キーを押しながら電源を入れます。



参考

「送信キーを押す」動作については、本機の「▽」キーと「△」キーに割り当てられています。



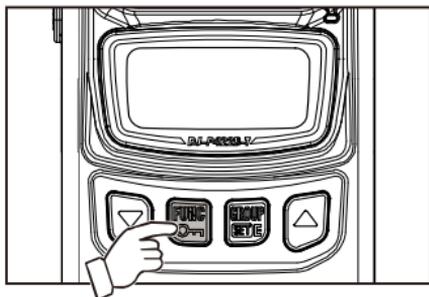
注意

専用モードの設定/解除を行う場合は、送信キーの真ん中を押しながら電源を入れてください。送信キーの端の方を押しながら電源を入れると、デュアルオペレーション/中継リモコンで起動してしまうことがあります。

11. リセット

■簡易リセット

「FUNC」キーを押しながら電源を入れます。ディスプレイが全点灯し基本機能（通話モードチャンネル、ペアリング、セットモードなど）が初期化されます。



■工場出荷リセット

「▽」キー、「FUNC」キー、「GROUP」キーを同時に押しながら電源を入れます。ディスプレイが全点灯し拡張機能も含めた全ての設定が初期化されます。※レストア情報は除きます。



12. セットモード一覧表

| No. | 項目 | 初期値 | No. | 項目 | 初期値 |
|-----|--------------|--------|-----|----------------------|--------|
| 1 | 電池選択 | bAt-AL | 22 | スケルチレベル | SqL-3 |
| 2 | コンパクター | Cmp-oF | 23 | キーロック時間 | LoC-2 |
| 3 | VOX | vo-oF | 24 | バッテリーセーブ | bS-on1 |
| 4 | 秘話設定 | SCr-oF | 25 | 電池電圧参照 | O.OO |
| 5 | 操作音量 | bP-3 | 26 | マイク音量 | mG-4 |
| 6 | エンドビー | EdP-oF | 27 | 再開時間設定 | dt-5 |
| 7 | ベル | bEL-oF | 28 | オプションPTT設定 | Pt-ALL |
| 8 | ランプ (バックライト) | LmP-5 | 29 | 緊急通報時間 | Emt-10 |
| 9 | ランプ (LED) | LEd-on | 30 | 秘話周波数 | SCF-34 |
| 10 | PTTホールド | Hld-oF | 31 | 秘話エンファシス | EmP-on |
| 11 | PTTオン/オフ | Ptt-on | 32 | 減電池アラーム | btC-oF |
| 12 | 中継接続手順 | At-on2 | 33 | グループ設定 | Gr-ton |
| 13 | イヤホン断線検知 | EAR-on | 34 | VOXディレイタイム | voT-10 |
| 14 | コールバック | CLb-oF | 35 | チャンネル表示 | CH-noL |
| 15 | 送信出力 | PwL-Hi | 36 | 音量レベル変更 | EvoL-L |
| 16 | 緊急通報 | EmG-oF | 37 | トーンマージン | tn-2 |
| 17 | 接客モード | rmt-oF | 38 | サブPTTキー割り当て | SPt-Pt |
| 18 | バイブレーション | vib-oF | 39 | 接客モードレベル | rmSn-4 |
| 19 | Bluetooth | bLt-oF | 40 | 接客モードディレイタイム | rmdt-3 |
| 20 | ペアリング一覧 | 1 ---- | 41 | テールノイズキャンセル | tC-on |
| 21 | BTマイク▲/▼キー | bky-vo | 42 | 減電池スリーブ | btS-on |
| | | | 43 | モニターモード | mky-oF |
| | | | 44 | BT-PTT選択 | bPt-ot |
| | | | 45 | ノイズキャンセル (Bluetooth) | bnC-oF |
| | | | 46 | 個別呼出設定 | SEL-oF |
| | | | 47 | 個別グループ設定 | myG-00 |
| | | | 48 | 個別個体番号設定 | myC-00 |
| | | | 49 | 通話圏内確認 | ArC-oF |
| | | | 50 | レストア | rSt-oF |
| | | | 51 | 中継チャンネル周波数帯 | rECH-A |
| | | | 52 | ビジーアラーム | bSy-oF |
| | | | 53 | アクセス速度 | LkS-nL |
| | | | 54 | ビーコン間隔時間 | Lkb-10 |
| | | | 55 | アクセス音 | LkP-SE |
| | | | 56 | ノイズキャンセル (連結中継リモン設定) | Lkn-oF |



グレー反転表示の部分は後述の拡張セットモードにて設定操作すると表示されます。

13. 通話モード別機能表

| | 交互通話 | 中継子機通話 | 連結子機通話 | デュアル オペレーション |
|-------------------------|------|--------|------------|-----------------|
| 電池選択 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| コンパクター | ○ | ○ | ○ | ○ |
| VOX | ○ | ○ | × | × |
| 秘話設定 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 操作音量 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| エンドビー | ○ | ○ | × | ○ |
| ベル | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ランプ (バックライト) | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ランプ (LED) | ○ | ○ | ○ | ○ |
| PTTホールド | ○ | ○ | ○ | ○ |
| PTTオン/オフ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 中継接続手順 | × | ○ | × | ○ |
| イヤホン断線検知 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| コールバック | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 送信出力 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 緊急通報 | ○ | ○ | × | ○ |
| 接客モード | ○ | ○ | × | × |
| バイブレーション | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Bluetooth | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ペアリング一覧 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BTマイク▲/▼キー | ○ | ○ | ○ | ○ |
| スケルチレベル [■] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| キーロック時間 [■] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| バッテリーセーブ [■] | ○ | ○ | △(on2/Eco) | × |
| 電池電圧参照 [■] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| マイク音量 [■] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 再開時間設定 [■] | × | × | × | ○ |
| オプションPTT設定 [■] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 緊急通報時間 [■] | ○ | ○ | × | ○ |
| 秘話周波数 [■] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 秘話エンファシス [■] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 減電池アラーム [■] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| グループ設定 [■] | ○ | ○ | × | ○ |
| VOXディレイタイム [■] | ○ | ○ | × | × |
| チャンネル表示 [■] | ○ | ○ | △(SP) | ○ |
| 音量レベル変更 [■] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| トーンマージン [■] | ○ | ○ | × | ○ |

| | ○ | ○ | △(EG/oP/vO/SC) | △(CH/SC) |
|----------------------------------|---|---|----------------|----------|
| サブPTTキー割り当て [※] | ○ | ○ | | |
| 接客モードレベル [※] | ○ | ○ | × | × |
| 接客モードディレイタイム [※] | ○ | ○ | × | × |
| テールノイズキャンセル [※] | ○ | ○ | × | ○ |
| 減電池スリープ [※] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| モニターモード [※] | ○ | ○ | ○ | × |
| BT-PTT選択 [※] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ノイズキャンセル(Bluetooth) [※] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 個別呼出設定 [※] | ○ | × | × | × |
| 個別グループ設定 [※] | ○ | × | × | × |
| 個別個体番号設定 [※] | ○ | × | × | × |
| 通話圏内確認 [※] | ○ | × | × | × |
| レストア [※] | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 中継チャンネル周波数帯 [※] | × | ○ | × | ○ |
| ビジーアラーム [※] | ○ | ○ | × | × |
| アクセス速度 [※] | × | × | ○ | × |
| ビーコン間隔時間 [※] | × | × | ○ | × |
| アクセス音 [※] | × | × | ○ | × |
| ノイズキャンセル(連結中継リモコン) [※] | × | × | ○ | × |
| コールトーン | ○ | ○ | ○ | ○ |
| グループトーク | ○ | ○ | ○ | × |
| キーロック | ○ | ○ | ○ | ○ |
| リセット | ○ | ○ | ○ | ○ |
| スキャン | ○ | ○ | × | × |
| ACSH | ○ | ○ | × | × |
| エアクローン | ○ | ○ | ○ | ○ |

- …………… 機能の初期値含め、全ての設定値が使用できます。
△(※)…………… () 内の設定値が使用できません。それ以外の設定値は使用できます。
×…………… 該当するモードでは強制的にオフとなり使用できません。
例：チャンネル表示…………… △(SP) チャンネル表示の SP が使用できません。
例：スケルチレベル※…………… 拡張セットモードです。

- ・拡張セットモードは無線機管理者向けです。通常セットモードよりも高度な内容で、意味を理解せずに勝手に変更すると通信できなくなる、故障と間違ふような動作をする、などトラブルのもととなります。
- ・拡張セットモードは通常のリセットでは初期化されません。電源を切り「▽」キー、「FUNC」キー、「GROUP」キーを同時に押したまま電源を入れるオールリセットにて初期化が可能です。チャンネルその他の設定も全て初期化されます。
- ・セットモード操作中は、送信ができなくなります。

14. セットモード基本操作

本機をもっと使いやすくするために、各種機能の動作をカスタマイズできます。内容を良くご理解いただいたうえで操作していただきたいので、本書でも操作方法はあえて最後に記載しています。拡張セットモード項目は、セットモード項目の後ろに続けて表示されます。

■ セットモードの設定方法

- ① 待受で「FUNC」キーを押しながら、素早く「GROUP」キーを押します。
- ② セットモード一覧表の順序通りに変更するには「GROUP」キーを押し、逆は「FUNC」キーを押します。
- ③ 設定値の変更は「▽」キーまたは「△」キーを押します。
- ④ 設定値の変更を確定するには「PTT」キーを押し、待受に戻ります。

■ 拡張セットモードの設定方法

- ① 待受で「FUNC」キーを長押しし、キーロックをかけます。
- ② キーロック後「FUNC」キーを離し、続けて「GROUP」キーを5回連続で押すと、「ビビ」音とともに拡張セットモードがオンになります。
- ③ セットモードに入り、設定項目が増えていることを確認します。
- ④ 拡張セットモードをオフにする場合は、同様の操作を繰り返します。

15. セットモード項目

セットモードで設定できる機能の内容と、設定値の一覧です。設定値のオンオフ表記は実際のディスプレイ表示に合わせています。

* マークが付いているのは拡張セットモードの項目です。

** マークが付いているのは Bluetooth に対応していない項目です。

1：電池選択 (bAt)

設定値 AL/ni (初期値 AL)

減電池アイコンで電池残量を正しく表示させるため、お使いの電池に合わせてください。誤った設定にした場合は正しく表示されません。

AL : アルカリ乾電池

ni : ニッケル水素充電電池 EBP-179

2：コンパクター (CmP)

設定値 oF/on (初期値 oF) * on アイコン (♂)

通話中に聞こえるバックノイズを低減できます。通話するすべての機器に設定する必要があります。

3：VOX (vo)

設定値 oF/La/Hi (初期値 oF) * La/Hi アイコン (⇄)

「PTT」キーを押さずに、オプションマイクに向かって話すと、自動的に送信する機能です。大きい声で話す場合は La、小さい声で話す場合は Hi に設定してください。

注意・VOXで送信中に、「GROUP」キーを押すと送信を一時的に停止できます。

- ・有線式イヤホンマイクを使用中にオプションPTT設定をALL (本体マイク：有効) に設定した場合、本体マイクに向かって話しても本機能は動作しません。オプションマイクに向かって話してください。
- ・セットモード「減電池アラーム」(P.26)を設定した場合は、本機能の動作が鈍くなります。

4：秘話設定 (SCR)

設定値 oF / on (初期値 oF) * on アイコン (秘話)

設定すると他の人には通話内容が聞かれにくくなります。セキュリティとしては低いものです。秘話の仕様上、若干音質が変わり明瞭度も下がります。特に聞かれて困らない通話内容であれば初期値オフのままをお勧めします。

5：操作音量 (bP)

設定値 OFF ~ 5 (初期値 3)

本機操作時のビープ音量の変更 (6段階) ができます。本機の通話の音量と操作ビープ音量は連動しません。またBluetooth対応アクセサリーを接続しているときは、本機操作時のビープ音は鳴りません。

6：エンドビー (EdP)

設定値 oF/on/PP (初期値 oF)

送信終了時に受信音に「ビッ」音が鳴り送信が終わったことを相手にお知らせする機能です。送信側でも「ビッ」音が鳴ります。送信側で設定します。PP に設定すると、受信終了時に信号レベルに合わせてビープ音を鳴らします。ビープ音は、強 (ビッ) 中 (ビビッ) 弱 (ビビビッ) の3段階があります。受信側でのみ鳴る機能なので、受信側で設定してください。両方の機能を同時に設定することはできません。

7：ベル (bEL)

設定値 oF/on (初期値 oF) * on アイコン (🔔)

受信をベル音とアイコンの点滅でお知らせします。通話中は鳴りません。しばらく待受が続くと動作を再開します。

注意・グループトーク設定時は、グループ番号が合わない信号を受信しても動作しません。
・通話圏内確認をオンにすると通話圏内確認用の信号を受信する関係上、通常の受信信号と区別がつかなくなるため動作しない仕様となっています。

8：ランプ (バックライト) (LmP)

設定値 oF/5/on (初期値 5秒)

ディスプレイ、キーバックライトの動作を設定します。初期値では約5秒間無操作で消灯します。onだと常時点灯しますが電池の消費がとて早くなります。

9：ランプ (LED) (LEd)

設定値 oF/on (初期値 on)

LEDランプを消灯することができます。光をさえぎる必要がある特殊な用途向けです。通常はオンのまま変えないでください。

注意・本機能をオフにしても、Bluetooth対応アクセサリーのランプ (LED) は消灯しません。アクセサリーが本機との接続状態を常に表示する仕様となっています。
・ランプの色は部品の個体差から、色が異なって見えることがありますが、異常ではありません。

10：PTT ホールド (HLd)

設定値 oF/on (初期値 oF)

「PTT」キーを一度押すと送信を継続する機能です。送信解除する場合は「PTT」キーを再度押します。本機能についてスピーカーマイクでは使用できません。

11：PTT オン/オフ (Ptt)

設定値 oF/on (初期値 on)

送信を禁止して受信専用にする機能です。オフにするとVOX送信もできなくなります。本機能をオフにしてPTT操作すると「PTT OFF」と表示され、喚起音（アラーム）が鳴ります。

12：中継器接続手順 (At)

設定値 oFF/on1/on2 (初期値 on2)

中継アクセス時の自動接続手順を変更、解除する機能です。通常は on2 で使用してください。他社製品の中継器にアクセスする場合、設定値を変更（oFF/on1）するとアクセスタイミングによっては、通信できる場合があります。

13：イヤホン断線検知 (EAr)

設定値 oF/on (初期値 on)

本機に接続したイヤホン（イヤホンマイクのイヤホンも含む）コードの断線を検知する機能です。オンに設定すると起動時に検知動作を行い、断線していると 10 秒間ディスプレイに「EAr-nG」表示と本機スピーカーの喚起音（アラーム）でお知らせします。外部機器への接続などで検知機能が障害になるときだけオフにします。有線式オプションをお使いの時はこの設定を変える必要はありません。

14：コールバック** (CLb)

設定値 oF/on (初期値 oF)

送信中にイヤホンから自分の送信音声がかんこえてくる機能です。正しく送信できているか確認しながら通話できます。コールバックの音量は本機の音量ツマミで調整できます。



スピーカーマイクではハウリングが発生するため、本機能をオフにしてください。

15：送信出力 (PwL)

設定値 Lo/Hi (初期値 Hi)

送信出力を変更することができます。

Lo 設定時の b チャンネル (b12~b29) はタイムアウト制限がない連続通話ができます。

16：緊急通報 (EmG)

設定値 oF/on (初期値 oF)

オン設定時「GROUP」キーを約 2 秒間押し続けるとディスプレイに「EmG-on」と表示され、本機スピーカーから喚起音（アラーム）が鳴り、同じチャンネル（グループ）に警告音を送信します。本機能はキーロック中でも有効です。通報中に停止したい場合は「PTT」キーを 1 回押ししてください。操作音量の設定がオフの時は緊急通報音が鳴らず、本機のマイクが拾う周囲の音を送信します。



- ・本機能は本体内蔵のスピーカーからアラームが鳴ります。有線式イヤホンマイクや Bluetooth 対応アクセサリ側からアラームは鳴りません。
- ・EDS-44 専用モードでは緊急通報は動作しません。

17: 接客モード (mt)

設定値 oF/Hd/tH/vo (初期値 oF)

有線式イヤホンマイク装着時にワンタッチまたは自分の声で受信音をミュートする(音量1に下げる)機能です。ミュート解除後はもとの音量に戻ります。自動で戻すこともできます。Bluetooth対応アクセサリについてはHd(ハンド)のみ使用できます。

- Hd(ハンド) : オプション「PTT」キーを短く押しとミュートします。もう一度押しと解除できます。
- tH*(タッチ) : オプションマイクを軽くたたくとミュートします。もう一度マイクを軽くたたくと解除できます。
- vo*(ボイス) : オプションマイクに声が入るとミュートします。声が入っている間はミュートを保持し、声がなくなると解除されます。

- 注意**・タッチとボイスはバッテリーセーブが動作しないため、使用時間が大幅に短くなりますが異常ではありません。一般用途にはハンドをお使いください。
- ・本体マイクや咽喉マイク、他社製オプションには対応しません。またスピーカーマイクやBluetooth対応アクセサリではタッチとボイスは動作しません。
 - ・接客モードはVOX、PTTホールド、デュアルオペレーション中は使用できません。
 - ・ミュート状態で何かのキーを押すとミュートが解除されます。
 - ・ハンドとタッチではミュート解除忘れを防ぐため、一定時間が経つと自動的にミュートが解除されます。
 - ・ハンド設定時は送信開始までに遅延が起るため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、途切れても支障がないような言葉から話し始めると通話しやすくなります。
 - ・ボイスは音声以外で動作してしまうような騒音の大きい場所では、使用できません。

18: バイブレーション (vib)

設定値 oF/1/2/3 (初期値 oF) * 1/2/3 アイコン (M)

受信したことを振動でお知らせします。振動時間は10秒です。振動中はアイコンが点滅し、キー操作すると停止します。振動タイプは3つのパターンから選択できます。

- 注意**・グループトーク設定時は、グループ番号が合わない信号を受信しても動作しません。
- ・振動が頻繁に起こるような環境では、電池の減りが早くなります。

19: Bluetooth (bLt)

設定値 oF/on (初期値 oF)

オンにすると弊社製 Bluetooth 対応アクセサリと接続できます。本機能中はバッテリー消費が増えます。

20: ペアリング一覧 (1 --- ---)

Bluetooth をオンにすると、過去にペアリングしたアクセサリ名が表示されます。

すでにペアリング済みの中から別のアクセサリへ接続/削除したい場合は、まずペアリング一覧からアクセサリ名を「マ」キーと「△」キーで選択します。

接続: 選択後に「GROUP」キーを長押しすると接続を開始します。ディスプレイに「ConECt」が点滅します。

削除: 選択後に「FUNC」キーを長押しすると削除します。ディスプレイに「ErASE」が表示します。



参考

接続開始後、接続先が見当たらない場合は一定時間経過後にペアリング一覧へ戻ります。他社 Bluetooth 対応アクセサリと接続している場合は、「otHer」と表示されます。

21: BT マイク△/▽キー (bky)

設定値 vo「音量変更」/CH「チャンネル変更」(初期値 vo)

弊社製 Bluetooth 対応アクセサリーの「△ / ▽」キーの割り当てを設定できます。

22: スケルチレベル* (SqL)

設定値 0~5 (初期値 3)

スケルチのレベルを 0~5 の範囲で調整します。大きくなりすぎるとノイズなどでスケルチが開くことが減る分、弱い信号は聞こえなくなります。通常は 3 のままお使いください。



参考

設定値 0 ではランプが緑色点灯し、スケルチ開放で「ザー音」が聞こえます。
グループトーク設定時は「ザー音」が聞こえません。

23: キーロック時間* (LoC)

設定値 1~3 秒 (初期値 2 秒)

指定のキーを長押しするとキーロックが掛かりますが、長押しする長さを 1~3 秒の間で変更できます。



参考

キーロックは「FUNC」キー長押しの簡易と、「FUNC」キーと「GROUP」キーを長押しする通常の2種類があります。

24: バッテリーセーブ* (bS)

設定値 oFF/on1/on2*/Eco** (初期値 on1) *oFF アイコン (▲) 表示例 L0,1

on1 設定時に待受が5秒以上続くと、電源を内部で自動的に短いスパンでオン/オフさせて電池の消費を抑えます。on2 は低消費モード、Eco はさらに低消費モードです。on2 はランプ (バックライト) が消灯します。Ecoはランプ (LED) とディスプレイが点滅します。



- 注意・低消費時間が長い on2 と Eco では受信音声が入切れを起こすことがあります。
- ・本機能をオフにすると受信音声の反応は良くなりますが、バッテリーの消耗が早くなります。
 - ・以下の条件は強制的に on1 に切替わります。
- 連結子機通話、VOX、減電池アラーム、通話圏内確認、個別呼出、Bluetooth動作、EDS-44 専用モード

25: 電池電圧参照* (O.OO)

現在のバッテリーの電圧を表示します。表示は目安で個体のばらつきもあります。電池が切れるときの数値を覚えておくと、より精度の高い減電池表示として使えます。

26: マイク音量* (mG)

設定値 1~7 (初期値 4)

通常は 4 のままお使いください。

相手に聞こえる声小さいときは数値を大きく、相手に聞こえる声大きいときは数値を小さく調整します。

27: 再開時間設定* (dt)

設定値 1~5 (初期値 5 秒)

デュアルオペレーション時、受信終了後に動作再開するまでの時間を設定します。

28：オプションPTT設定* (Pt)

設定値 oFF/out/dSb/ALL (初期値 ALL)

有線式オプション接続時に本体 PTT と本体マイクの有効/無効を選べます。またデュアルオペレーション時の「PTT」操作をオプション (メイン送信) /本体 (サブ送信) と割り当てできます。使用する条件に合わせて設定してください。

oFF : 本体 PTT 無効 / マイク 無効 (オプション: PTT 有効 / マイク 有効)

out : 本体 PTT 有効 / マイク 無効 (オプション: PTT 有効 / マイク 有効)

dSb : デュアルオペレーション (オプション: PTT操作: メイン送信 / 本体 PTT操作: サブ送信[本体マイク無効])
デュアルオペレーション かつ EDS-44 専用モード時
(オプション: PTT操作: メイン送信 / EDS-44 操作: サブ送信[本体マイク無効])

ALL : 本体 PTT 有効 / マイク 有効 [イヤホン接続時の設定] (オプション: PTT 有効 / マイク 有効)

注意 ・有線式オプションを接続していない場合は、どの設定値にしても本体PTTと本体マイクが有効となります。ただしEDS-44 専用モードでは本体PTTと本体マイクが無効となります。
・「out/dSb/ALL」でスピーカーマイク使用時に、本体の「PTT」キーを押しながらスピーカーマイクに向かって話しても音声が発信されません。

29：緊急通報時間* (Emt)

設定値 10～60 (初期値 10秒)

緊急通報の送信時間を10秒ごとに設定できます。

30：秘話周波数* (SCF)

設定値 27～34 (初期値 34 : 3.4kHz)

秘話機能の周波数を変更します。通話したいグループ全員同じ周波数に設定します。通常は 34 のままお使いください。

31：秘話エンファシス* (EmP)

設定値 oF/on (初期値 on)

弊社の秘話搭載特定小電力無線機や他社製の秘話搭載特定小電力無線機の秘話は機種によって通話の相性があり、音声が聞き取りづらい場合があります。聞き取りづらいと感じたときオフにすることで改善される場合がありますのでお試しください。

32：減電池アラーム* (btC)

設定値 oF/05/10/20/30/40/50/60秒 (初期値 oF)

減電池時にランプを早い周期で青色点滅させ、またバッテリーアイコンを点灯/点滅させ、お知らせします。上記に加え、減電池時に設定した間隔で喚起音 (アラーム) を鳴らしてお知らせします。

33：グループ設定* (Gr)

設定値 ton/Cd1/Cd2 (初期値 ton)

本機のグループは以下の3つから設定できます。通話したいグループはすべて同じ設定にする必要があります。

ton : トーンスケルチ 1～50

Cd1 : デジタルコードスケルチ 83波

Cd2 : デジタルコードスケルチ 108波

34：VOX ディレイタイム* (vot)

設定値 01～30（初期値 10：1.0 秒）

VOX で送信中に息継ぎなどで声が途切れても送信状態を保持する時間を設定できます。

35：チャンネル表示設定* (CH)

設定値 noL/SP/oFF（初期値 noL）

本機のチャンネルは L01～L09、b01～b11、L10～L18、b12～b29と表示されます。SP に変更すると他社製の01～27方式に変更することができます。オフにすると表示が「—」となり、設定内容を隠せます。

36：音量レベル変更* (EvoL)

設定値 L/H（初期値 L）

本体スピーカー/オプションイヤホンまたはスピーカー等の音声出力（受信音量）を大きくすることができます。Hに設定すると、電源を入れたとき「機種表示」の後に「EvoL-H」と表示されます。

注意・H 設定時に本機の電源/音量ツマミを最大（目盛 8）まで上げると、音声出力（受信音量）がさらに大きくなるため、歪みやすくなります。また電池の消耗も早くなります。
・イヤホン使用時はあらかじめボリュームを下げておき、少しずつ音量を上げて適切な音になるよう調整してください。

37：トーンマージン* (tn)

設定値 1～5（初期値 2）

グループトーク機能の信号の読み取り精度を調整できます。弊社製の旧型機や他社製品とグループトークでの通話が不安定な場合、お試しください。数字が大きいほど精度がゆるくなります。通常は2のままお使いください。

38：サブPTTキー割り当て* (SPt)

設定値 Pt/CH/EG/oP/vO/SC (初期値 Pt)

「PTT」キー下にある「サブ PTT」キーは、初期値ではデュアルオペレーションのサブ送信に割り当てられていますが、次の機能に変更することができます。

Pt：デュアルオペレーション時に「サブ PTT」キーを押すとサブ送信できます。

それ以外のモードでは、「サブ PTT」キーを押すと通常の「PTT」キーと同じ動作をします。



参考

「CH/EG/oP/vO/SC」設定の場合、デュアルオペレーション時に「PTT」キーを連続で 2 回押すと、サブ送信します。

CH：交互通話・中継子機通話・連結子機通話の待受時に「サブ PTT」キーを約 2 秒間押し続けると、メインとサブチャンネルを切替えることができます。サブチャンネルはデュアルオペレーション動作をする時に登録する方法 (P.10) と同じです。連結子機通話のときは、サブ PTT キー割り当てを CH にしたときのみ、サブチャンネル登録できます。

EG：「サブ PTT」キーを約 2 秒間押し続けると、セットモード「緊急通報」(P.23) と同様の動作をします。

oP：「サブ PTT」キーを 2 秒以上押して離すことで拡張セットモード「モニターモード」(P.29) の Hd 時と同様の動作をします。

vO：「サブ PTT」キーを 2 秒以上押して離すことで受信音量が一時的にミュートします。再度キー操作することで解除されます。自動では解除されないのをご注意ください。

SC：交互通話・中継子機通話の待受時に「サブ PTT」キーを約 2 秒間押し続けると、スキャンが始まり、自動的にチャンネルを切り替えながら受信します。信号を受信するとスキャンが止まり、信号が無くなるとスキャンを再開します。停止するには再度「サブ PTT」キーを操作するか、「PTT」キーを短く押します。

注意：以下の条件ではスキャン動作しません。

送信中、VOX、個別呼出、通話圏内確認、チャンネル表示 oF、デュアルオペレーション、連結子機通話、ビジーアラーム

- ・受信を切替える仕様上、バッテリーセーブが強制的にオフになりバッテリー消費が大きくなります。
- ・スキャン中に電源を切り、再度起動するとスキャン開始から始まります。
- ・スキャン中はセットモードに入れません。

39：接客モードレベル* (rmSn)

設定値 1~7 (初期値 4)

接客モードのタッチ、またはボイスを使用時のマイク感度レベルを変更できます。

ミュートが利きにくい場合は設定値を大きく、ミュートが利きやすい場合は設定値を小さくします。

40：接客モードディレイタイム* (rmdt)

設定値 1 (5 秒) /2 (10 秒) /3 (15 秒) /4 (30 秒) /5 (60 秒) (初期値 3)

ミュートの保持時間を変更できます。ハンドとタッチではミュートの解除忘れを防ぐための時間設定です。設定時間になると自動的に解除されます。ミュート状態の保持時間を延ばすときは、設定時間を長くします。ボイスでは息継ぎしても解除しないようにするための時間設定です。ミュートの切替えを早くしたいときは短めに設定すると使い勝手が向上しますが、息継ぎでも解除されることがあります。

41：テールノイズキャンセル設定* (tC)

設定値 oF/on (初期値 on)

通話終了時に受信側から聞こえる「ザツ」を除去する機能です。本機能は送信側と受信側の両方で有効にしたときのみ動作します。

42：減電池スリープ* (btS)

設定値 oF/on (初期値 on)

電池の電圧が一定レベルまで下がると自動的に電源を切り、過放電を防ぐ機能です。

注意 電源が切れるとランプ・ディスプレイが消灯します。保管する場合は電源/音量ツマミを目盛(●)まで反時計方向に回してください。

43：モニターモード* (mKy)

設定値 oF/on/Hd (初期値 oF)

設定値をオンにすると、待受で「▽」キーと「△」キーを同時に押ししている間だけランプが緑色点灯し、スケルチを開放して「ザー」音が聞こえます。受信状態のチェックなど管理者向けの機能です。設定を Hd にすると、1回同時押しで「ザー」というノイズが聞こえる状態になり、もう一度同時押しすると元に戻ります。

44：BT-PTT 選択* (bPt)

設定値 ot/H1/L1/H2/L2 (初期値 ot)

Bluetooth 対応アクセサリ接続時の送信する操作を本体/オプション「PTT」キーか、本体マイクと加速度センサーを使用した音と衝撃による検知に設定することができます。

本体マイクを手の平でたたくイメージで音と衝撃をあたえてください。設定値より音と衝撃の感度や回数を選択できます。送信後は再度同様の衝撃をあたえると送信を停止します。送信停止後は誤動作防止のため約 1 秒間は検知無効となります。

ot : 本体/オプション「PTT」キー

H1 : 1回 音 + 衝撃 (高感度) 小さな音と衝撃で検知し送信します。

L1 : 1回 音 + 衝撃 (低感度) 大きな音と衝撃で検知し送信します。

H2 : 2回 音 + 衝撃 (高感度) 小さな音と衝撃 (2回連続) で検知し送信します。

L2 : 2回 音 + 衝撃 (低感度) 大きな音と衝撃 (2回連続) で検知し送信します。

注意 ・「H1/L1/H2/L2」を設定した場合、誤動作防止のため本体/オプション「PTT」キーは強制的に無効となります。
・以下の条件は強制的に ot に切替わります。
VOX、EDS-44 専用モード、有線式オプション接続時

45：ノイズキャンセル (Bluetooth) * (bnC)

設定値 oF/on (初期値 oF)

ノイズキャンセル対応 Bluetooth アクセサリ内蔵のノイズキャンセルをオン/オフ設定できます。

オンにすると、アクセサリのマイクに向かって話した音声以外のノイズを除去して送信音声の明瞭度を上げる機能です。

注意 ノイズキャンセル非対応 Bluetooth アクセサリ接続時に本機能をオンにしても正常に動作しません。
・音声の周波数を通過させ、それ以外は除去するタイプのノイズキャンセラーです。
・本機能をオンにすると、音声は若干変化します。音楽やチャイムは正しい音に聞こえませんが、突発的な物音などはノイズキャンセルできません。
・音声周波数をフィルターする原理上、騒音が多い場所では送受信音声小さくなったり、少ない場所では歪んだり、ハウリングが発生したりすることがあります。そのようなときはオフにしてお使いください。

46：個別呼出設定* (SEL)

設定値 oF/on (初期値 oF)

通話開始時に呼出信号を送り、同じチャンネルに設定している特定の個人やグループを選択して通話するモードです。

注意 以下の条件では本機能は動作しません。

- ・中継子機通話、連結子機通話、デュアルオペレーション、グループトーク、VOX、通話圏内確認
- ・発信側の送信タイミングや着信側の設定によって、受信時に「ビボバボビ」のように聞こえることがあります。異常ではありません。
- ・個別呼出は全員の設定をオンにして、次ページのイラストを参考に「47：個別グループ設定」と「48：個別個体番号設定」をそれぞれあらかじめ設定しないと動作しません。
- ・本機能は秘話ではありません。個別呼出設定していない人についても、チャンネルを合わせるだけですべての通話を聞くことができます。

●呼出操作

個別呼出設定をオンにするとディスプレイに「SL」が表示されます。発信側は「PTT」キーを押し続け「ビビビ…」と呼出音が鳴り終わるまで待ちます。着信側は「ビロビロビロ」と着信音が鳴り、発信側の個体番号を点滅表示し、通話が成立します。成立後は交互通話のように通話できます。無通信（送受信なし）が約5秒間続くと、再度発信・着信の呼出操作に戻ります。

注意

発信側は「ビビビ…」の呼出音が鳴り終わるまでマイクに向かって話し始めないでください。

●呼出選択

待受中に「FUNC」キーを押しながら「マ」キーか「△」キーを押すと呼出相手を選択できます。

- SL-ALL : 全員と通話できます。
- SL-〇〇 (00～99) : 特定の個体番号（個人）を呼出して通話できます。
- SL-G〇〇 (00～19) : 特定の個別グループに属する個体番号（個人）全員と通話できます。

47：個別グループ設定* (myG)

設定値 00～19 (初期値 00)

個別呼出のグループ番号を設定します。選択できるグループ数は 00～19 の 20 通りから選べます。

48：個体番号設定* (myC)

設定値 00～99 (初期値 00)

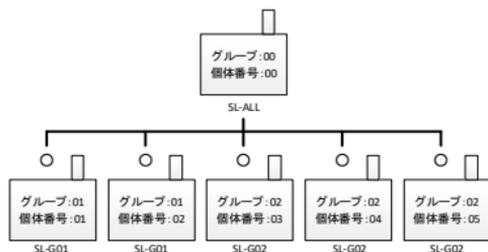
個別呼出の個体番号を設定します。00～99 の 100 通りから選びます。

●個別呼出の設定例

6人で個別呼出をする例です。グループは1人組の00が1つ、2人組の01が2つ、3人組の02の3つに分けています。個別番号は00～05をそれぞれに設定します。

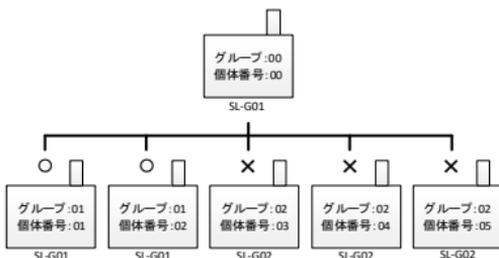
①ALL 全体呼び出し

グループ00が「SL-ALL」で送信します。着信側は設定に関わらず呼出を受信して、どのグループでも00と通話できます。しかし無通信が約5秒以上続くと00に応答できなくなり、00からの発信を待つ必要があります。



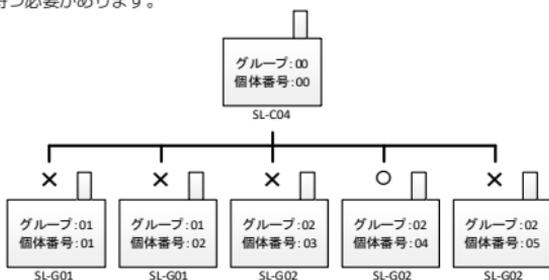
②G** グループ呼出

グループ00が「SL-G01」で送信します。着信側はグループ01である2人が呼出を受信して、00と通話できます。グループ02の3人は通話できません。しかし無通信が約5秒以上続くと00に応答できなくなり、00からの発信を待つ必要があります。



③C** 個別呼出

グループ00「SL-C04」で送信します。着信側は個体番号04である1人が呼出を受信して、00と通話できます。他の人は通話できません。しかし無通信が約5秒以上続くと00に応答できなくなり、00からの発信を待つ必要があります。



49：通話圏内確認設定* (ArC)

設定値 oF/on (初期値 oF)

グループトーク中に相手との通話が可能かどうかの目安を表示することができます。

通話したいグループ全員の通話圏内確認をオンにして同じグループ番号にしてください。

約1分毎に瞬発ですが通話が可能か確認をするので、そのタイミングが別のユーザーのチェック動作と重なると正しく判断できなくなります。これを防ぐため、この機能を使うときは電源を入れるタイミングを全員少しずらしてください。また3人以上のグループで使用する場合は、圏内判定が正確に表示されない場合がありますが、この表示が実際の通話の距離や音質に影響することはありません。

「=」点滅：圏内に通話できる相手が居るか、検索しています。

「C」点灯：通話可能かどうか確認するための信号を送っています。

「=」点灯：信号は強く良好な通話が可能。

「=」点灯：信号は普通、おおむね良好な通話が可能。

「_」点灯：通話が可能だが信号は弱く、途切れることがある。

「_」点滅：相手が離れているか電源が切られているなどで、通話できません。

注意 以下の条件では本機能は動作しません。

中継機通話、連結子機通話、デュアルオペレーション、EDS-44 専用モード

50：レストア* (rSt)

設定値 oF/SE/Ld/Er (初期値 oF)

チャンネル情報、メモリー情報、セットモード情報をリセットしても消えないように記憶させ、復元させる機能です。リセット後の面倒な設定やり直しをせずに済みます。

Sv : Sv を選択した画面で「GROUP」キーを長押しすると全ての情報が保存され「wt-rSt」を表示します。新しい設定を記憶するときはこの操作を繰り返せば上書きできます。

Ld : Ld を選択した画面で「GROUP」キーを長押しすると保存した情報を復元します。復元が終わると「rd-rSt」が表示され、自動的に再起動します。何も保存されていない場合、「no-rSt」が表示され読み出しがキャンセルされます。

Er : Er を選択した画面で「GROUP」キーを長押しすると記憶させた情報を消去します。終わると「Er-rSt」が表示されます。完全に工場出荷状態まで戻す時は、消去してからリセットしてください。

注意 Bluetooth ペアリング情報は記憶、復元できません。

51：中継チャンネル周波数帯* (rECH)

設定値 A/b (初期値 A)

中継器を使用するときの周波数帯を変更できます。変更すると中継機通話で、ディスプレイ左の「A」表示が「b」表示になります。

弊社製の中継器、無線機をお使いになるときは変更する必要はありません。



参考

使用する中継器の設定を確認ください。周波数帯は中継器と逆に設定します。中継器が A なら子機を b に、中継器が b なら子機を A にします。

52：ビジーアラーム* (bSy)

設定値 oF/SE/01/05/10/30 秒 (初期値 oF)

グループトークでの通話中、別グループ（グループ番号の不一致）の電波を一定時間受信すると、受信中や受信終了時に通知音（アラーム）で自身にお知らせする機能です。設定値によっては頻度を選択できます。

SE : 別グループの電波を受信開始と終了のタイミングで通知音が鳴ります。

1~30 : 別グループの電波を受信中一定間隔で通知音が鳴ります。

53：アクセス速度* (LkS) *FS アイコン (F) 表示例 FLK-A1

設定値 nL/FS (初期値 nL)

本機能は連結中継器 (DJ-P113R, DJ-P116R 等) に設定をリモコン送信できる設定項目です。連結中継の通話開始 (応答) のときのアクセス速度を変更できます。初期値の「nL(通常)」は通信精度を優先するためアクセスに時間がかかり、長めの頭切れが発生します。

「FS」に切替えるとアクセスを優先するようになり、この頭切れを緩和することができます。しかし混信の多い環境では最寄りの中継器を誤認することがありますので、使用環境にあわせて最適な設定でお使いください。



連結中継に使用するすべての中継器と子機を同じ設定値にしてください。

54：ビーコン間隔時間* (Lkb)

設定値 oF/5/10/20/30/40/50/60 秒 (初期値 10 秒)

本機能は連結中継器 (DJ-P113R, DJ-P116R等) に設定をリモコン送信できる設定項目です。中継器が送信するビーコンの間隔時間を設定します。通常は初期値10秒のまま使用してください。



- 注意
- ・ 連結中継に使用するすべての中継器と子機を同じ設定値にしてください。異なる設定値にした場合、自動で最寄りの中継器を判別できなくなります。
 - ・ 設定値をオフにすると中継器からのビーコンが送信されなくなります。
 - ・ ビーコン間隔時間によって電池の消耗が変わります。ビーコン間隔時間が長いと電池の消耗が少なく、短いと多くなります。設定値を5秒またはオフにした場合、バッテリーセーブが動作しないため、電池の消耗がより早くなります。
 - ・ 間隔時間を短くすると最寄りの中継器を判定する精度が高くなりますが、通話時に頭切れするおそれがあります。間隔時間を長くすると最寄りの中継器を判定する精度が低くなります。実用される前に十分に実験してから確認してください。

55：アクセス音* (LkP)

設定値 oF/St/Ed/SE (初期値 SE)

連結中継の通話開始と終了時のピープ音の動作を切替えます

oF : 通話開始・終了の両方とも鳴りません。

St : 通話開始のみ鳴ります。

Ed : 通話終了のみ鳴ります。

SE : 通話開始・終了の両方とも鳴ります。

56：ノイズキャンセル（連結中継リモコン設定）*（Lkn）

設定値 oF/on（初期値 oF）

本機能は連結中継器（DJ-P116R）に設定をリモコン送信するものです。オンの設定をリモコン送信すると連結中継時のノイズキャンセラーを有効にします。

- 重要**
- ・ 連結中継に使用するすべての中継器と子機を同じ設定値にしてください。
 - ・ ノイズキャンセラー対応の連結中継器に対してのみ有効です。
 - ・ 中継器の連結中継ノイズキャンセラーをオンにしたときは、子機のコンバンダーなど特定の機能の設定をオフにしないと正常に動作しません。必ず中継器の取扱説明書の「ノイズキャンセラー」の項目をご参照のうえ、子機の設定にもご注意ください。

Copyright Alinco, Inc.
PW0021
FNFH-NG